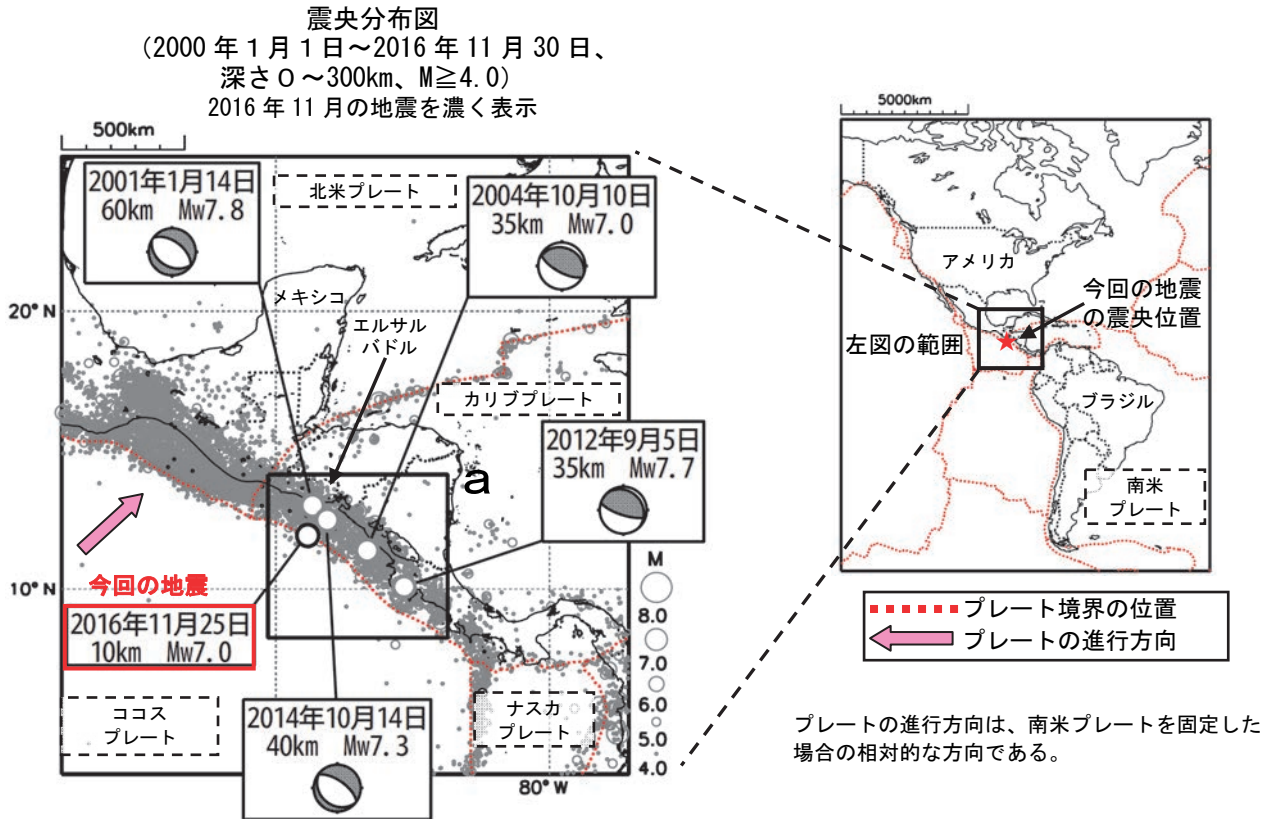


11 月 25 日 中央アメリカ沖の地震

2016 年 11 月 25 日 03 時 44 分 (日本時間、以下同じ) に中央アメリカ沖の深さ 10km で Mw7.0 の地震が発生した。発震機構 (気象庁による CMT 解) は、北東-南西方向に張力軸を持つ正断層型であった。

気象庁は、同日 04 時 12 分に遠地地震に関する情報 (日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません。」) を発表した。

2000 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 a) では、M7 を超える地震が時々発生している。今回の地震の周辺では、カリブプレートの下にココスプレートが沈み込んでいて、これに伴って、活発な地震活動がみられ、津波や地震による被害も生じている。今回の地震の北側に位置するエルサルバドル付近で 2001 年 1 月 14 日に発生した Mw7.8 の地震では、死者 852 人などの被害が生じている。



※本資料中、今回の地震の発震機構及び Mw と 2012 年 9 月 5 日と 2014 年 10 月 14 日の地震の発震機構は気象庁による。そのほかの地震の発震機構は、GlobalCMT による。震源要素及びそのほかの地震の Mw は米国地質調査所 (USGS) による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) * より引用。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.